

リーダーたちの本棚

未来のために 今できること

【率いる】
Leading

「父親から社長を引き継いだ時、負債は年間売上高と同額の40億円にのぼっていました。かじ取りを任せられたのは、沈む寸前の泥舟だったのです。乗るしかなかったです。人様に迷惑をおかしてはならないという一念でした」

35歳で社長に就任した藤井隆太さんは、経営改革に取り組む。役員から「風邪薬や胃薬の分野に進出したらどうか」という意見が上がる。藤井さんは「我々の使命は、世のため人のために『のど』を守るメーカーを貫くこと。もうかればいいという話ではない」と一蹴。自ら医療や介護の現場に赴いて顧客の生の声を聞き、服薬ゼリーの開発の推進や、主力製品「クララ」の廃止と、「龍角散ダイレクト」の投入を決断した。

「古参の幹部たちは猛反発しましたが、現場の声に耳を傾けて下した結論なので、決して曲げませんでした」

そして、携帯しやすい個包装の「龍角散ダイレクト」「らくらく服薬ゼリー」「おすすり飲めたね」を始めとする服薬ゼリー、「龍角散ののどすっきり飴」などのヒット商品が次々誕生。今や売上高は150億円を超え、就任時の3倍以上に伸びた。

国内外の需要に素早く対応

近年は、輸出やインバウンド需要も伸びている。「いわゆる『爆買い』が加速した時期もありましたが、現在は購買者の全体数が増え、安定的に売れています。製品の安心・安全に対する信頼がクチコミで広がっているようです。というの、当社は原料となる生薬の国産比率を高めています。当社発祥の地である秋田県や各自治体の協力、農家の皆様の努力により、厳しい基準をクリアした薬用植物の本格栽培に成功した結果です。医薬品のみならず、日本で丁寧に安全に育てられた生薬そのものを買いたいという海外からの引き合いもあります。高齢化や人手不足に悩む日本の農業の活性化も含めて可能性を感じています」

また、医療費の拡大に伴う日本の医療保険制度の危機を訴え、セルフメディケーションの推進にも取り組んでいる。

「介護や医療の現場に行くと、高齢者の多くが医師から処方された大量の薬を飲んでます。ただ、『症状は深刻ではないけれど、処方薬は安いので一応もらっておく』『よく飲み忘れる』という人も少なくありません。処方された薬が飲みづらい時は、服薬ゼリーを使って飲みやすく、早い回復を目指す。生活習慣や運動の質を見直す。定期検診を受ける一方で、重複受診や頻回受診を避ける。OTC医薬品(市販薬)を賢く活用する。一健やかな未来のために、今できることがあるはずですよ」

セルフメディケーションを学ぶイベント 開催のご案内

「よく知って、正しく使おうOTC医薬品」

日時：2017年10月20日(金) 12:00~20:00・21日(土) 10:00~19:00
会場：東京都日本橋 ◆第1会場/福徳の森 ◆第2会場/江戸橋通り地下歩道
主催：日本一般用医薬品連合会(日本OTC医薬品協会・日本家庭薬協会) (公社)東京薬事協会 (公社)東京生薬協会 (公社)東京都薬剤師会 (公社)東京都医薬品登録販売者協会
詳細は www.hmaj.com/news/20171020.html へ

■朝日新聞社メディアビジネス局ウェブサイトでは、藤井隆太さんが語るリーダー論を紹介しています。

<https://adv.asahi.com/> 朝日新聞 広告

本連載「リーダーたちの本棚」が書籍化されました
『私をリーダーに導いた250冊』好評発売中
朝日新聞出版 ISBN 978-4-02-331547-1 本体価格 1500円+税



龍角散
代表取締役社長

藤井隆太

1959年東京生まれ。84年桐朋学園大学音楽部及び同研究科修了。小林製薬、三菱化成工業(現・三菱化学)を経て、94年龍角散入社。95年から現職。

藤井隆太さんのおすすめ本棚

『母の教えⅣ』
(財界研究所)『財界』編集部

経済誌『財界』で連載中の「母の教え」を書籍化。リーダーたちが、母親とのエピソードや、影響を受けた言葉などを語る。第4巻には藤井隆太社長が登場。

『音のかなたへ』
(毎日新聞出版) 梅津時比古・著

満ち来たる音楽から生まれる言葉。丸山眞男、丸谷才一ら知の巨星に「最も美しい日本語」と愛された音楽エッセー。毎日新聞人気連載の単行本化。

『バルカンから響け! 歓喜の歌』
(晋遊舎) 柳澤寿男・著

偶然降り立ったバルカンの地で本場の指揮者人生が始まった。日本人だからできることがある! 民族紛争の地で、音楽で人の心をつなぐ著者の軌跡。

『なぜ、健康な人は「運動」をしないのか?』
(あさ出版) 青柳幸利・著

「歩くだけで健康になれるわけ!」歩数と中強度の活動のバランスが重要! 「1日の歩数で予防できる病気がわかる!」など、正しい健康法を伝授。

『医療防衛 なぜ日本医師会は闘うのか?』
(角川書店) 今村聡 海堂尊・著

医療の敗北は「市民社会」の敗北だ。『鎌倉迷宮』主人公の医学生・天馬大吉らが日本医師会に乗り込んだ。そこでわかった本当の事実とは?

R

【読む】
Reading

音楽が経営のモチベーション

のどを守る薬として古くから知られる龍角散。現在の秋田県一帯を治めた秋田藩(藩主・佐竹氏)の家伝薬をルーツとし、創業を担った藩の御典医・藤井家が継承。藤井隆太さんは8代目にあたる。以前はプロのフルート奏者という異色の経歴の持ち主だ。推薦本と共に自身の音楽ヒストリーも語ってくれた。

「母の教え」は各界のリーダーたちが、生まれ育った家庭環境や親との思い出について語るシリーズ本です。エピソードは十人十色ですが、親の態度や言動が人生の教訓になっているところは、どのリーダーにも共通しています。私の子供時代の暮らしは、決して平凡で、住まいは公団住宅でした。5階建てでもエレベーターがなく、台風が来ると窓が外れて雨風が吹き込んでくるような古い造りでした。父は千葉大学を卒業後、研究者としていましたが、祖父の求めで龍角散を継ぎました。ビジネス経験がない父にとって、会社経営は苦勞が多かったと思えます。母は千葉大の薬学部出身で、その考え方は、合理的で科学的。とりわけ健康

の自己管理に厳しい人でした。今で言うセルフメディケーションです。思えば、私の経営観の根幹を築いたのが、母の教えでした。また、両親ともに音楽好きで、父はピアノ、母はバイオリンを弾きました。私は3歳でバイオリンを習い始め、齋藤秀雄先生が教える桐朋学園大学の「子供のための音楽教室」にも通いました。中学生になるとオーケストラの練習に加わり、齋藤先生の厳しい薫陶を受けました。何しろレッスン初日に「親の死に目には会えないと思え」と、プロとしての心構えをたたき込まれるのです。晩年の齋藤先生は車イスで教室に通われました。最後の授業では、先生の指揮者を一喝して車イスを降り、命がけで指揮のタクトを振られました。指揮者が変わればオケの音も変わります。場合によっては劇的に輝くような音が教室に響き渡ったあの時の感動は、生涯忘れられないでしょう。

「音のかなたへ」は、桐朋学園大学学長の梅津時比古先生がつづる音楽エッセーです。音楽というのは聴きたいように聴けばいい、私は思っています。クラシック音楽については情報を知りたい人もいますが、情報が想像力をそいでしまふこともあるのではないですか。梅津先生は叙情的に音楽雑感を語りながらも、情報を押し付けてはいません。むしろ音楽から自由に想像を膨らませることの幸せを伝えてくれます。『歓喜の歌』は、ゴッホの『オリーブ畑』と交響楽団首席指揮者の柳澤寿男さんの回顧録です。柳澤さんは、紛争の傷痕を背負ったユゴスラビアの地で、民族共栄の願いをこめてバルカン室内管弦楽団を設立しました。戦い合った民族間の憎悪はたやすく消えるものではないですが、柳澤さんが懸け橋となつて融和を模索し、国境も民族も超えた楽団のコンサートを実現させました。4年前に彼らが来日した際、私はその演奏を聴いています。紛争経験者たちが平和への思いを込めて奏でた音楽には、聴衆の心を揺さぶる響きがありました。

日本の医療の現状を多くのの人に知ってほしい

私の学生時代に話を戻すと、高校に上がる時にバイオリンからフルートに転向しました。プロのフルート奏者として活動した時期もあります。結局会社を継ぎましたが、やっぱり音楽は経営のモチベーションにはなっています。人々の健康に貢献する会社だからです。演奏家は健康でないと務まりません。当社はこの健康に特化した商品を扱い、未病対策



にも力を入れています。日頃から食事や生活習慣に留意し、軽い症状なら市販薬を活用して元氣になりましたと誇っているのです。私自身も健康増進に努めており、近年は「なぜ、健康な人は『運動』をしないのか?」を読んでいると思った「中強度の運動」を実践しています。早歩きや階段の昇降など、日常的にできる運動です。その効果が、フルートのプレスが長く続くようになり、いい音が出るようになりました。社員に日常の早歩きを勧めるなど、「健康経営」(従業員等の健康管理を経営的な視点で考え実行する経営手法)にも取り組んでいます。5冊目は、「医療防衛 なぜ日本医師会は闘うのか?」です。海堂尊氏のベストセラー小説の主人公が、日本の医療に迫ります。本書の主人公は、少ない自己負担で高水準の医療を受けられる日本の医療保険制度が危機的状況であることへの警鐘です。私が特に深刻だと考えるのは、個人が医療機関から処方してもらう薬の多さと、その飲み残しや飲み忘れです。制度の手厚さに慣れすぎて放置している。医療制度は早晩崩壊に向かうでしょう。また、私の父は肺がんを患いましたが、免疫治療によって抗がん剤や胃ろうの世話にならずに済み、穏やかに逝きました。そうした終末医療のあり方も含めて、国民一人ひとりが問題意識を持つ必要があると思います。(談)

三笠書房 千代田区飯田橋3-3-1
○詳細は<http://www.mikasashobo.co.jp>
○(株)ブックライナー(フリーダイヤル)0120-398899
(9:30~19:00)からもご購入いただけます。

三笠書房BOOKSTOREで立ち読みができます!!
<http://www.mikasabooks.jp>

5万部突破!

できる人の語彙力が身につく本

「何かが違う!」あの人の言葉遣いは、業績は好調と仄聞しております。ここで痛み分けにしませんか? 捲土重来を期して今度こそ勝つ! 端なくも、我が社の商品がマスコミに取り上げられた

できる人の語彙力が身につく本

『文庫版』 定価: 本体630円+税

ISBN 978-4-8379-8484-9

体内の「炎症」を抑えると、病気にならない!

知らなければ一生損する! 「病気がちな人」100歳まで元氣な人を分けるのは、「体内の炎症」だった!

最新刊

体内の炎症が引き起こす病気の症状の例
認知症、うつ、メタボ、糖尿病、アレルギー、動脈硬化、皮膚炎、老化

池谷敏郎

医学博士

ISBN 978-4-8379-2701-3 定価(本体1300円+税)

西郷隆盛 十の訓え

語り継がれる「激動の時代の生き方」

2018年 NHK大河ドラマは「西郷どん」

西郷隆盛 西郷隆盛公 養父 隆盛 西郷 隆盛 西郷 隆盛 西郷 隆盛

ISBN 978-4-8379-2701-3 定価(本体1000円+税)

仕事、成功、お金、人間関係、女、見た目……

この「こだわり」が、男を磨く

43万部突破 『一流の男、二流の男』シリーズ最新作

里中李生 Satonaka Rishou

「得意なこと」を突き詰める「他人と違う」のは「才能」である「バカ」と群れるな絶対に、太らない「信念」がビジネスを一変させる「高級」は、男を変える

なぜ、あの人は、誰からも一目置かれるのか?

ISBN 978-4-8379-2705-1 定価(本体1000円+税)

仕事、成功、お金、人間関係、女、見た目……この「こだわり」が、男を磨く

「得意なこと」を突き詰める「他人と違う」のは「才能」である「バカ」と群れるな絶対に、太らない「信念」がビジネスを一変させる「高級」は、男を変える

なぜ、あの人は、誰からも一目置かれるのか?

里中李生